

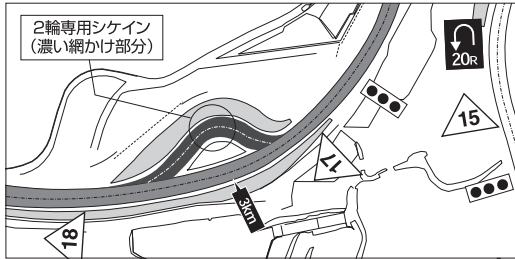


SUZUKA CIRCUIT INTERNATIONAL RACING COURSE

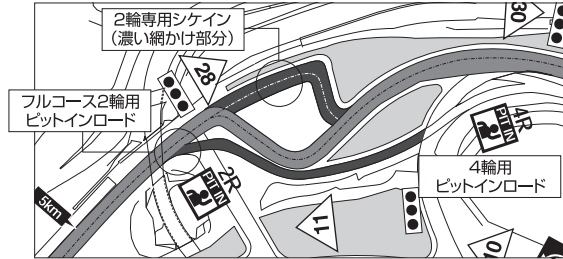
●イメージのため、形状・寸法など実際とは異なる場合があります。

December 2017 ©Mobilityland Corporation All Rights Reserved.

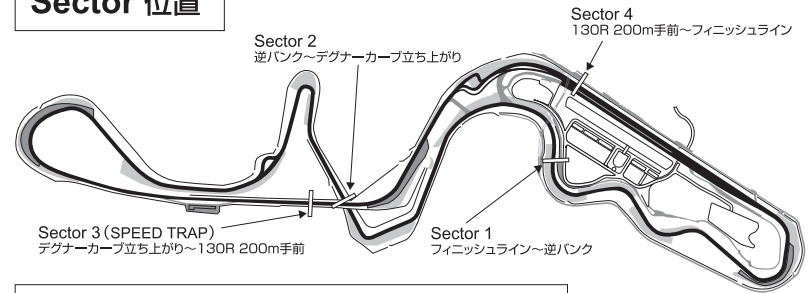
ヘアピンから200R



日立オートモティブシステムズシケイン

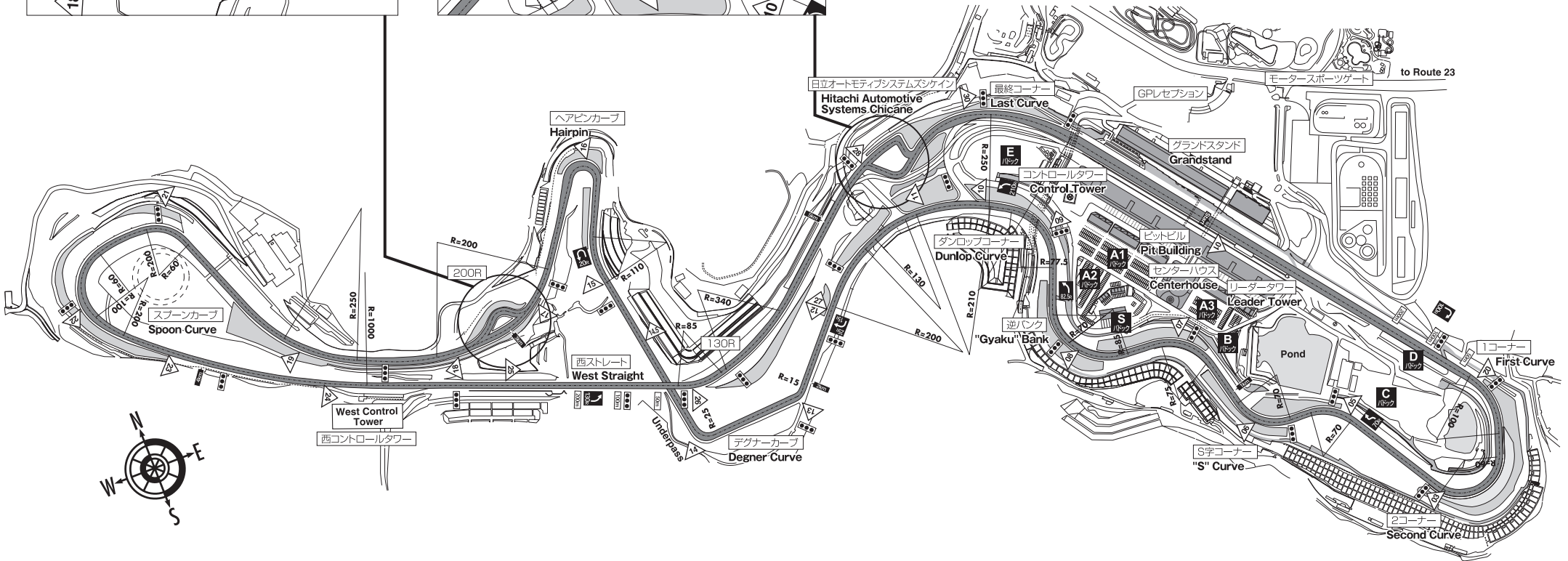


Sector 位置

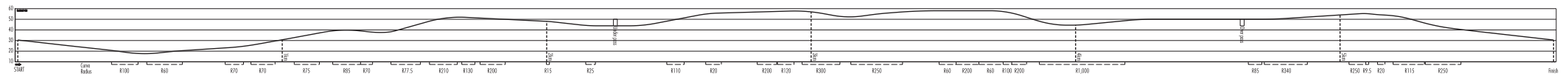


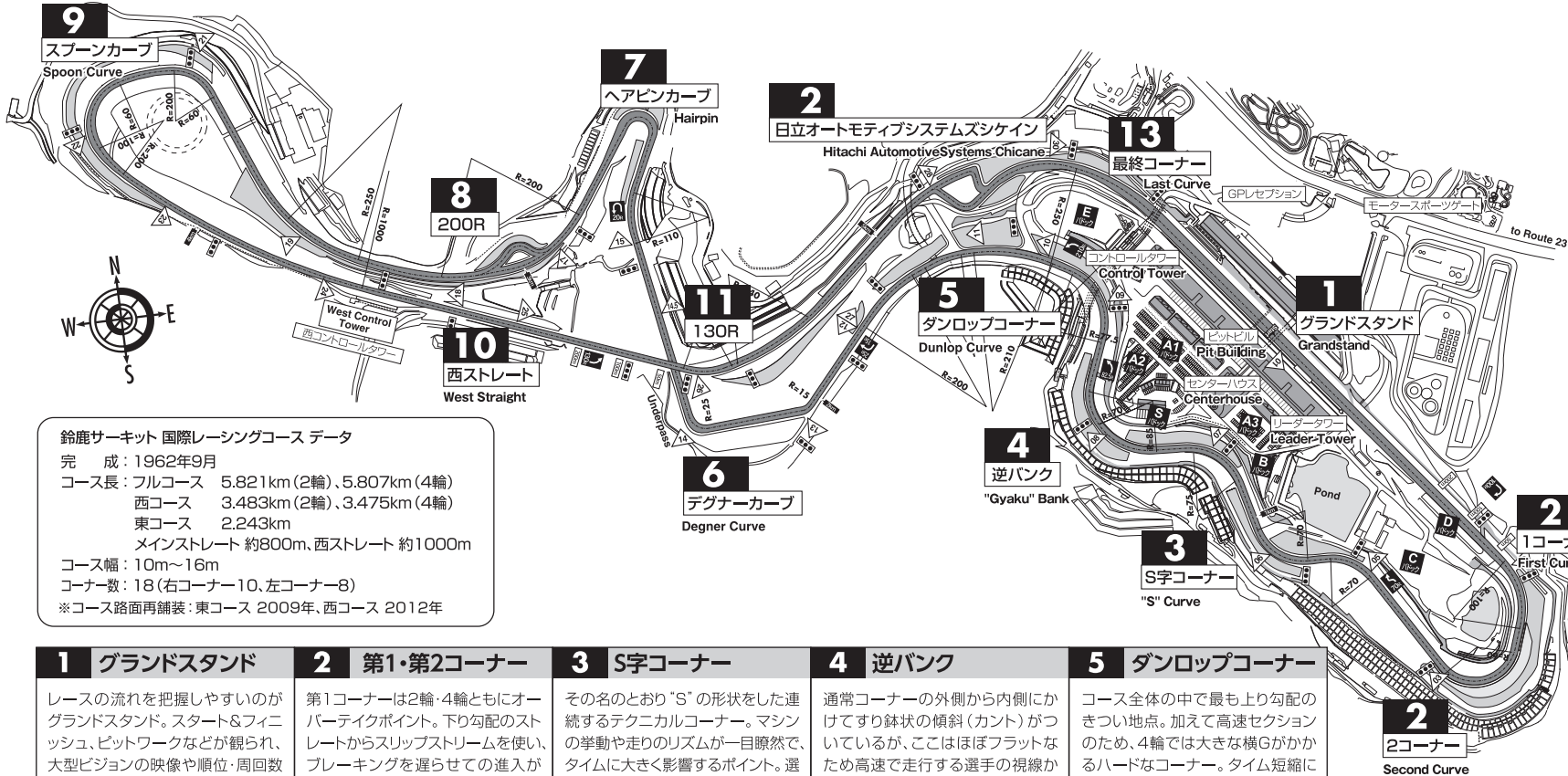
区間1 (Sector 1) 1,658m	区間2 (Sector 2) 936m
区間3 (Sector 3) 2,130m	区間4 (Sector 4) 1,084m

※区間3, 4は4輪コースの距離です。



ELEVATION





鈴鹿サーキット 国際レーシングコース データ
 完成：1962年9月
 コース長：フルコース 5.821km(2輪)、5.807km(4輪)
 西コース 3.483km(2輪)、3.475km(4輪)
 東コース 2.243km
 メインストレート 約800m、西ストレート 約1000m
 コース幅：10m~16m
 コーナース：18(右コーナー10、左コーナー8)
 ※コース路面再舗装：東コース 2009年、西コース 2012年

<p>1 グランドスタンド</p> <p>レースの流れを把握しやすいのがグランドスタンド。スタート&フィニッシュ、ピットワークなどが観られ、大型ビジョンの映像や順位・周回数を表示するリーダータワーで、レースの情報が集約される。</p>	<p>2 第1・第2コーナー</p> <p>第1コーナーは2輪・4輪ともにオーバーテイクポイント。下り勾配のストレートからスリップストリームを使い、ブレーキングを遅らせての進入が表すリーダータワーで、レースの情報が集約される。</p>	<p>3 S字コーナー</p> <p>その名の通り「S」の形状をした連続するテクニカルコーナー。マシンの挙動や走りのリズムが目瞭然で、タイムに大きく影響するポイント。選手のテクニックに加えてマシンセッティングをチェックするには最適。</p>	<p>4 逆バンク</p> <p>通常コーナーの外側から内側にかけてすり鉢状の傾斜(カント)がついているが、ここはほぼフラットなため高速で走行する選手の視線からは逆に傾斜しているような錯覚に陥る。</p>	<p>5 ダンロップコーナー</p> <p>コース全体の中で最も上り勾配のきつい地点。加えて高速セクションのため、4輪では大きな横Gがかかるハードなコーナー。タイム短縮には重要なポイントだ。マシンが高速で駆け上がるさまは迫力満点。</p>
<p>6 デグナーカーブ</p> <p>1962年、旧東ドイツの名ライダーE.デグナーが転倒したため、この名がつけられた。元は1つのコーナーだったが、1987年の改修により左右と連続する2つのコーナーになった。テクニクが要求されるポイント。</p>	<p>7 ヘアピンカーブ</p> <p>女性のヘアピンに似た形状から呼ばれる。デグナーカーブを立ち上がり、加速したマシンが一気に減速するタイトな低速コーナー。進入のブレーキング競争などの攻防をじっくり味わえる。写真撮影にも絶好のポイント。</p>	<p>8 200R</p> <p>ヘアピンを抜けたマシンが一気に加速していく高速コーナー。先の250Rと合わせて Spoon Curve に向かってシフトアップしていく爽快な走りが見られる。2輪専用シケインは2004年に新設された。</p>	<p>9 スプーンカーブ</p> <p>ティースプーンのような形をしていることから命名された。60Rから200Rまで5つのコーナーからなるテクニカルな複合コーナーで、その脱出スピードが速く西ストレートでの最高速を左右する重要なポイント。</p>	<p>10 西ストレート</p> <p>約1kmにおよぶコースの中で最長の直線は最高速度がマークされるポイント。現在までの最速は、F1ドライバー キミ・ライコネンがマークした328.6km/h。130Rに向けて迫力の高速バトルが堪能できる。</p>
<p>11 130R</p> <p>西ストレートからわずかの減速で進入する130Rは、世界的にも有名な超高速コーナー。2003年の改修で85Rと340Rが繋がった複合コーナーとなったが、数々の伝説を生んだ名称はそのまま。</p>	<p>12 日立オートモティブシステムズシケイン</p> <p>右一左と低速コーナーが連続するシケイン。オーバーテイクポイントのひとつで、数多くのドラマを生んだ。2輪と4輪ではコースが異なり、2輪は4輪よりさらに65m先が進入ポイントとなる。</p>	<p>13 最終コーナー~メインストレート</p> <p>最終コーナーは長い下りの右コーナー。ここでの立ち上がり、続く約800mのメインストレートのスピードの乗りを左右する。2009年コントロールタワーは、最終コーナー側に約88.4m移動された。</p>		

COURSE RECORD

コースレコード(参考) 2017.12.31 現在

カテゴリー	ドライバー/マシン	タイム	平均速度(km/h)
FORMULA 1 (予選)	1' 27" 319	240.290	
	1' 28" 237.559		
	1' 29" 234.889		
	1' 30" 232.280		
	1' 31" 229.720		
FORMULA 1 (決勝)	1' 31" 540	227.230	
	1' 32" 227.230		
	1' 33" 224.787		
	1' 34" 222.395		
	1' 35" 220.054		
SUPER FORMULA	1' 35" 907	217.762	
	1' 36" 217.762		
	1' 37" 215.517		
	1' 38" 213.318		
	1' 39" 211.163		
SUPER GT (GT500)	1' 47" 074	195.376	
	1' 48" 193.567		
	1' 49" 191.791		
	1' 50" 190.047		
	1' 51" 188.335		
FORMULA 3	1' 50" 999	188.335	
	1' 52" 186.654		
	1' 53" 185.002		
	1' 54" 183.379		
	1' 55" 181.784		
SUPER GT (GT300)	1' 57" 543	178.677	
	1' 58" 177.163		
	1' 59" 175.674		
	2' 00" 174.210		
	2' 01" 172.770		
FORMULA 4	2' 01" 888	171.354	
	2' 02" 169.961		
	2' 03" 168.590		
	2' 04" 167.242		
	2' 05" 165.914		
JSB1000	2' 05" 192	164.608	
	2' 06" 163.322		
	2' 07" 162.056		
	2' 08" 160.809		
	2' 09" 159.582		
J-GP2	2' 09" 529	157.182	
	2' 10" 155.822		
	2' 11" 154.575		
	2' 12" 153.328		
	2' 13" 152.081		
ST600	2' 11" 920	148.264	
	2' 12" 147.220		
	2' 13" 146.190		
	2' 14" 145.175		
	2' 15" 144.174		
J-GP3	2' 16" 178	143.186	
	2' 17" 142.212		
	2' 18" 141.251		
	2' 19" 140.303		
	2' 20" 139.368		



コース距離×3600 = 平均速度
 ラップタイム(秒)

※上記の「ラップタイム&平均速度」は、4輪用フルコース(全長5.807km)を基準に算出したものです。